

2月

昭和57年 1982

横浜市関係

- 1—境川改修に伴う横浜・大和両市の境界変更実施、一・八ha大和市へ
- 2—市民局勤労市民室の「雇用動向アンケート」によると、六〇歳定年制五二・三%の事業所で実施
- 3—市、金沢地先理立問題協議会で、市大医学部、同付属病院などを金沢埋め立て三号地へ移転方針と説明
- 4—市長、総額一兆三、四八二億四、五三九万円の五十七年度当初予算案発表。前年当初比九・〇%増。一般会計六、一三八億四、六九八万円。前年当初比三・五%増。▽県都計審、北八朔公園(七・七ha)、日野中央公園(五・七ha)等一四件原案通り承認
- 12—市、総額七億六、四〇〇万円の二月補正予算案発表
- 15—「みなとみらい21」計画の環境アセス評価書の縦覧開始
- 16—第一回横浜市民消防感謝祭。▽市地域防災計画のうち、航空機・地下街ガス爆発・高速道路事故対策を盛り込んだ「都市災害対策編」修正案発効
- 18—緑区と町田市にまたがる玉川学園周辺自治会町内会連絡協議会、「みどりの宣言」発表。▽市行政懇話会、意見集を市長に提出。任期終了
- 19—市会二月定例会開会(3/16)

自治体・国・社会

- 1—東京金取引所創立総会。▽都総務局長急死(53)。▽五十六年の住宅建設、一一五万、六〇〇戸。前年比九・二%減。
- 5—自治省、五十五年度市町村決算の概況発表。赤字団体が前年より一九増え六八。6—川崎公害訴訟第一次原告団結団式。▽政策推進労組会議の「婦人労働者の実態調査」によると、「仕事のやりがいある」六三・二%。8—東京都千代田区のホテル・ニュージャパン火災。死者三二人。9—羽田空港沖で日航機墜落、死者二四。10—県知事総額一兆一、四七七億六、二〇〇万円の五十七年度当初予算案発表。▽全国スーパーマーケット協会設立。13—厚生省の「五十五年度社会医療診療行為別調査」によると、一件当たり医療費一四、〇七五円。16—川崎市長、総額四、八七七億六、九六九万円の五十七年度当初予算案発表。17—全国市議会議長会の都市行政問題研究会、機関委任事務の廃止などを含む「新時代に即応した市議会機能の向上策についての意見」発表。18—中国残留日本人孤児一陸三〇人、厚生省の招きで来日。23—都、

3月

昭和57年 1982

横浜市関係

- 24—横浜駅西口再開発をめぐる行政訴訟で、横浜地裁は土地所有者らの請求却下
- ▽市、身障者職員採用試験合格者発表。四月一日採用、二七人
- 25—中区の米軍住宅三施設、三月三十一日付返還決定。約八一ha
- 26—市内在住国家公務員対象に、東京で「よこはま21世紀プラン」「みなとみらい21」に関する市主催説明会開催。▽市長選の事前説明会開く
- 3—「市民サービス向上のための総点検運動」により、実質四七九件改善
- 5—「自治体革新をめざすよこはまの会」「市民の市長をつくる会」との共闘断念
- 8—市建築審査会、「横浜こども科学館」の建設差し止めを求める行政不服申し立てに対し、住民側の請求を退ける裁決。
- ▽国連・アジア太平洋都市会議実行委員会、市民作文「私の中のアジアと日本」の入賞者発表、表彰式
- 12—港湾局、五十六年横浜港港勢概要発表。入港船舶七一、四六〇隻で五・七%減。コンテナ貨物一、一〇四万五、〇〇〇t。一五・六%増
- 13—QEII、二年ぶり六度目の来浜(S14)。▽金沢区福浦に「横浜ヘリポート」完成、落成式。市消防局と県警共同使用

自治体・国・社会

- 無断欠勤などの職員三三人を懲戒処分。24—県選管の「政治と選挙についての意識調査」によると、地方政治不満派四五・九%。満足派三三・〇%。26—川崎球場及び周辺環境整備調査研究専門委員会、市長に答申。「かわさきガーデンスタジアム」建設など。27—厚生省の国民生活実態調査によると、暮らしが苦しい四〇・一%
- 3—総理府統計局、五十六年家計調査報告発表。実質〇・八%減。二年連続実質減。8—不動産協会、五十六年住宅地供給実績発表。マンション販売戸数前年比一一・四%増。9—全国市長会、五十六年九月末現在の都市人口概況発表。六五〇市で総人口の七七%。10—大阪市特別職報酬審議会、平均八・〇%引き上げ答申。市長一一〇万円で日本一。11—山形県金山町議会、全国初の情報公開条例「金山町公文書公開条例案」可決施行。12—気象庁、北海道で地震の誤情報流す。13—県衛生部、県下のホテル、旅館の安全対策で防災基準に合格した五〇八施設に「適」マーク交付。交

- 15 市の金沢地先埋立問題協議会解散
- 16 市会本会議、五十七年度当初予算案原案通り可決、反核意見書採択
- 17 市自転車等駐車対策会議発足。▽金沢公園の一部(五分の一)完成、開園式。▽松平義幸助役退職
- 18 市美術館基本構想委員会、文化美術情報センター、子供アトリエ等を盛り込んだ答申を市長に提出
- 21 市選管、市内選挙人名簿登録者数一九六万三、二〇一人と発表
- 22 市長選挙告示
- 23 市長選挙告示締切。史上最多の六人立候補。▽磯子区選出の久松久市議(社党)死去(58)
- 29 西区の尾張屋橋全面開通。長さ一八三mで市内一長い橋
- 30 京浜外貿埠頭公園解散。習日より、横浜港埠頭公社引き継ぐ
- 31 中区の米軍住宅三施設返還式。▽保土ヶ谷区市議補選、三人立候補
- 1 市廃棄物交換システム開始。▽大橋橋国際船客ターミナル無料開放開始。▽市県乗用自動車協会横浜支部、県個人タクシー連合会と災害時の無線通信協定を調印。▽シルクホテル、経営不振で二三年の歴史に幕。▽市職員五三三人採用
- 3 根岸線本郷台駅前広場オープン
- 9 中区伊勢佐木町一・二丁目地区商店

- 付率六一%。16 県、五十七年度から県立高校六校を地域開放と発表。17 医療問題専門家会議、医療法制の見直し等答申
- 18 川崎公害患者ら一一九人、大気汚染物質排出差し止めと損害賠償求めて横浜地裁川崎支部に提訴。20 自治省、地方公務員の定員管理調査発表。五十六年四月現在三二〇万五、七二八人。▽上野動物園開園百年記念式典。21 北海道浦河で震度六▽82年平和のためのヒロシマ行動に二〇万人参加。24 大阪地裁、箕面忠魂碑違憲訴訟で違憲判決。25 神奈川婦人の地位向上プラン策定委員会、基本構想案、基本計画案を知事に答申
- 30 ガット、「81年国際貿易年次報告」発表。世界貿易総額、'58年以来二四年ぶり減少。31 地方税法改正案可決、一八七市のC農地課税対象に
- 1 京都市空き缶条例施行。▽国土庁、一月一日現在の地価公示。全国平均八・三%アップ。▽五〇〇円硬貨登場。一五年ぶり新硬貨。▽日本医師会長に花岡堅而氏。▽県カラオケ条例施行。2 アルゼンチン、英領フォークランド諸島占領。8 県総合福祉政策委員会発足。▽第二

- 街振興組合理事会、街づくり協定決定
- 11 市長選挙投票日。投票率三九・七六%。前回比三・六八%増。保土ヶ谷区市議補選、投票率四四・一五%
- 12 細郷道一市長再選。五二万票で井之川氏に三三万票差。得票率六九・八六%。▽保土ヶ谷区市議補選は中村達三氏(自民)初当選。▽横浜地方務局旭出張所業務開始。旭・瀬谷区を管轄
- 16 市長、再選後初登庁
- 19 中区新本牧地区の地権者四一六人が街づくり協定締結。▽市大教授会、新学長に高井修道氏選出
- 20 臨時市会開会(23)
- 22 南区中村町で、県立埋蔵文化財センター落成式。三階建、三、〇〇〇㎡
- 25 戸塚区の「飯島市民の森」、一〇周年記念式典、市民の森第一号
- 26 商工会議所常議員会、近代美術館の美術品収集資金として三億円カンパ決定
- 27 西公会堂オープン。▽横浜駅東西自由通路で陶板壁画「太陽とこども」除幕式。縦四m、横一五m。▽東京湾岸自治体公害対策会議、横浜で全体会議
- 28 市職能開発総合センター、中区山下町で開所。六施設併設。▽金沢工業団地三号地集団進出第一号の、二つの協同組合の組合員工場完工式
- 30 市老人問題研究会最終報告。「市民福祉事業団」設立など提言

- 次教科書訴訟で最高裁、家永勝訴の二審判決を破棄、高裁へ差し戻し。▽鉄鋼大手賃上げ回答。六・三六%。10 国税庁の「五十六年お酒白書」によると、消費量は史上最高の七〇一万二千ℓ。そのうちビールが六六・二%と一位。11 京都府知事選、林田悠紀夫知事再選。14 公労協スト中止で、一四ふりストなし春闘。19 基地関係市町連絡協議会、首相、米大使らに厚木基地の騒音防止を求める要請書を提出。▽都長期計画懇談会都長期計画基本構想を知事に答申。20 国鉄運賃平均六・二%値上げ。五年連続。初乗り二二〇円に。21 知事主催の市長会議開催、一九市長出席。22 県勤労婦人問題協議会、「雇用に於ける男女平等実現のために」と題する報告書を知事に提出
- 23 知事主催の町村長会議、一八町村長出席。25 五十六年賃金構造基本統計調査によると、男子年齢別賃金では四五・四九歳が最も高い。26 浅間山、九年ぶり噴火。27 全国市議会議長会、五十五年中の市議会議長の実態調査結果発表。六四九市のうち直接請求一八市一八件。
- 28 大蔵省・日銀、五十六年度国際収支発表。三年ぶり黒字

資料は「広報よこはま」によったほか、主として神奈川新聞を参考にした。*印は日付不確定のため新聞発行日。